

鉛蓄電池再資源化協会 処理25%減、「無償」低調

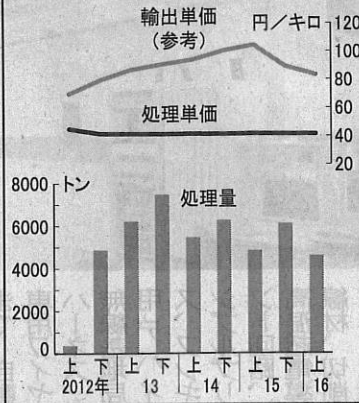
鉛蓄電池再資源化協会 (SBRA) はこの

16年度上期

ほぼ、2016年度上半期のリサイクル実績を発表した。使用済み自動車用鉛蓄電池（二輪車用を含む）の処理量は4604ト。前半期と比べて24.8%減少し、低調だった。キロ当たり平均処理価格は0.2円安の41.4円。

同協会は大手電池メーカーなど正会員が拠出した運営資金をもとに、使用済み電池を無償回収して解体・精錬業者に処理を委託し、精錬鉛を全量引き取る取り組み。適正な国内鉛リサイクルを促進するため、2012年7月に運営をスタートし

鉛蓄電池再資源化協会 (SBRA) の処理実績



た。ただし、排出業者の自主的な取り組みのため、有償取引に流れやすくなっている。

上半期（3月21日～9月20日）は前年同期と比べても5.1%減少。12年度下半期に本格開始して以来、最も少ない水準だった。財務省貿易統計によると、4～9月の韓国向け輸出は4万7087

ト（月平均7967ト）で、SBRA処理量はその10分の1に満たなかった。

平均処理価格はリサイクル開始以来、キロ41～42円で固定されて

きた。韓国向けの輸出平均単価キロ83円との値差は縮小したが、排出業者に対価が支払われない本制度は依然として低調で、リサイクル原料の海外流出に歯

銅相場アンケート

投票マーク
第51回
キリトリ線
投票マーク(要綱は1頁付)

止めをかける策にはなり得ていない。

日刊産業新聞 携帯サイト
http://www.japanmetal.com/m/
QRコード